小児外科手術クリニカルパス
（　鼠径ヘルニア・臍ヘルニア・真性包茎・陰嚢水腫・停留睾丸　など　）

患者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	入院　手術前	手術後	退院
観察	 体温、脈拍、血圧などを確認します  風邪症状がないか確認します	 麻酔の覚め具合を確認します(手術後3～4時間) 体温、脈拍、血圧、酸素の取り込みを確認します 手術した部分の出血、傷の痛み、はき気がないかを確認します。	体温、脈拍、血圧などを確認します 手術した部分の確認をします
安静	 制限は特にありません。転倒に注意しましょう	帰室後、抱っこができます。 麻酔から覚めたのを確認後、歩くことができます。	
食事	 食事・水分は禁止となります (時間は外来で医師から指示があります)	 看護師がお腹の動きを確認し、よければ試飲してはき気・嘔吐がないかをみます(手術後2時間を目安に水分を摂ります 飲めそうであればお水やスポーツドリンクを、難しそうであればミルクやジュースなどをご持参ください) 夜ご飯から、食事を摂ることができます	
排泄	 病棟トイレを使用してください 手術前にトイレを済ませてください (オムツを使用しているお子様は一枚準備してください)	 病棟トイレを使用してください (ふらつき・はき気・気分が悪い場合は看護師に相談してください)	
診察処置	 入院時に医師の診察があります 風邪をひいている場合は伝えてください 身長と体重を測ります。		
薬物療法	ありません。	 手術室で点滴が開始されます 痛みがある場合、痛み止めを使用することができます はき気・嘔吐がある場合、はき気止めを使用することができます	
説明指導	 手術時間・食事・手術後の処置について説明します 不明な点があれば遠慮なくお声かけください お子様の手術から帰室までは必ずご家族は病棟内または待合室にてお待ちください	 手術終了後、手術室前の面談室にて医師から説明があります 別紙にて退院後の生活について説明します	医師の診察後、 退院となります。
目標	手術を受けるための全身状態が整い、予定通り受けられる 手術の必要性とオリエンテーションの内容が理解でき、手術に臨むことができる	手術に伴う症状が緩和される(はき気・発熱・痛みなど)	退院後の注意点が理解し退院できる

症状、経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2019年9月作成(2021年2月改訂)　パス委員会承認　聖隷浜松病院 C7病棟